令和8年度　一般廃棄物焼却処理施設　維持管理記録簿

舞鶴市清掃事務所

1. 施設の状況

	種類	基準	（単位）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(平均)
一般廃棄物（可燃ごみ）		焼却量	（t/月）	1,495.55	1,541.91	1,504.64	1,526.10	1,398.21	1,402.63							8869.04
1号炉	燃焼ガス温度	800以上	（℃）	913	916	909	913	914	916							914
	集じん器入口ガス温度	概ね200以下	（℃）	182	182	182	182	182	182							182
	排ガス中の一酸化炭素濃度	100以下（1h平均値）	（ppm）	2	3	2	1	2	1							2
2号炉	燃焼ガス温度	800以上	（℃）	923	916	912	909	913	912							914
	集じん器入口ガス温度	概ね200以下	（℃）	183	182	182	182	182	182							182
	排ガス中の一酸化炭素濃度	100以下（1h平均値）	（ppm）	5	7	5	3	3	2							4

※燃焼ガス温度、集じん器入口温度、排ガス中の一酸化炭素濃度は連続記録の為1ヶ月の平均値としています。

2. 排ガス中のばい煙濃度、ダイオキシン類濃度

測定月				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
測定日				－	－	5月21日	－	7月21日	－						
測定結果が得られた日				－	－	6月4日	－	8月4日	－						
測定項目	法基準	生活環境保全目標値	（単位）	－	－	－	－	－	－						
ばいじん濃度	0.15以下	0.02以下	（g/㎥N）	－	－	0.002	－	〈0.002	－						
硫黄酸化物排出量	—	—	（㎥N/h）	－	－	0.044	－	0.120	－						
硫黄酸化物排出量	11.5以下	—	（K値）	－	－	0.009	－	0.024	－						
窒素酸化物排出量	250以下	150以下	（ppm）	－	－	64	－	73	－						
塩化水素濃度	700以下	250以下	（mg/㎥N）	－	－	〈4	－	6	－						
水銀濃度	50以下	—	（μg/㎥N）	－	－	〈0.21	－	－	－						
ダイオキシン類濃度	5以下	1以下	（ng-TEQ/㎥N）	－	－	0.0024	－	－	－						

※ばい煙濃度は6回／年、ダイオキシン類濃度は1回／年、水銀濃度は3回／年、分析機関による検査を実施しています。

※測定値は酸素補正値(12%換算)を記載しています。

3. 排ガス処理設備、冷却設備に堆積したばいじんを除去した日

実施個所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
排ガス処理設備 冷却設備	－	－	15	－	－	－						

【用語説明】

◇ ばいじんとは
　大気中に浮遊する粒子状の物質のうち、ごみ焼却炉など燃焼に伴って発生するススなどを「ばいじん」と呼んでいます。

◇ 硫黄酸化物とは
　石油や石炭、ごみなどが燃焼するとき、これらの燃料やごみに含まれる硫黄分が酸素と結合して発生するものです。

◇ 窒素酸化物とは
　物の燃焼に伴って大気中の窒素が酸化されてできるものと、燃料や燃焼させる物体に含まれる窒素分が燃焼に伴い酸化されてできるものがあります。

◇ 塩化水素とは
　塩化ビニル樹脂（ポリ塩化ビニル）を含むごみを焼却したときに発生するものです。

◇ ダイオキシン類とは
　ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン、ポリ塩化ジベンゾフラン及びコプラナーポリ塩化ビフェニルの総称です。
　これらの分子構造中の塩素数とその位置によって性質が異なります。なかでも塩素の数が4個の2,3,7,8-四塩化ジオキシンが最も毒性が強いです。

◇ K値（K値規制）とは
　硫黄酸化物の排出基準は、煙突の高さ及びK値（地域ごとに定める係数）から「許容限度」として定められており、ばい煙発生施設ごとに算出された排出量について、排出規制を実施されています。

◇ m^3Nとは
　0℃、1気圧に換算した状態での体積です。

◇ ppmとは
　百万分の1という割合を表示する記号です。

◇ ng（ナノグラム）とは
　ナノは単位のひとつで10億分の1（10の-9乗）を示します。

◇ TEQ（毒性等量）とは
　ダイオキシン類は多くの異性体を持ち、それぞれ毒性の強さが異なる。異性体の中でも最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジオキシンの毒性を1として各異性体の毒性を毒性等価係数により換算した量です。

◇ 水銀とは
　金属の中で唯一、常温で液体の性質を持つ金属で、その性質を利用して温度計や血圧計などに用いられています。
水銀の毒性は化学形態の違いにより異なりますが、特にメチル水銀は、人の中枢神経系に対する毒性が強い特徴があります。